

## 令和4年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立道塚小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・さまざまな活動に意欲的に取り組むことができた。異学年や地域の方、保育園児・幼稚園児との交流もすすんで行うことができた。また、活動の中で教え合いや学び合いをすることができた。
- ・児童が自分の思いや願いを実現に向けて、試行錯誤できるように、素材や材料、道具を選べるような場の設定を工夫をした。また、「もっとやりたい」という気持ちを持続できるような単元計画と場の工夫を設定をしていくことを大切に、授業改善に取り組むことができた。
- ・児童の気付きの質を高めていく指導を意識し、授業づくりを工夫した。児童の気付きを促す声掛けや、児童の活動からの気付きを見とることを意識した。

#### (2) 課題

- ・一人一人の気付きは増えたが、その気付きを共有し、自分の表現に生かせるように授業づくりを工夫する必要がある。
- ・教師が、児童の気付きについて目標に即した視点を段階的にもって見取り、一人一人の気付きを価値付ける授業づくりをする。
- ・入学前の生活体験・経験が減ってきているので、体験的活動も入れていく必要がある。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・一人一人の活動を充実させ、それを振り返り表現させることで体験からの気付きを引き出す。</li><li>・気付きの段階を教師が理解し、適切な発問や価値付けをする。</li><li>・一人一人に生まれた個別の気付きを関連付けたり、自分と身近な人々や社会、自然についての気付きを大切にする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・児童が自分自身や自分の生活について、見付ける、比べる、例えるなどの学習活動を繰り返し行える場を設定する。</li><li>・日常的に表現する場面を組み入れる。文章や絵だけでなく、動作化や伝え合いなどの表現活動を繰り返す。</li><li>・作品を掲示したり発表の場を設けたりすることで、友達のよさをや自分との違いに気付き、自分の表現に生かせるように</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教室で生き物を飼う、季節を感じる実物の紹介や教室掲示をするなど、植物や生き物などが自然と目に入り、「やってみよう」と思うような環境づくりをする。</li><li>・友達や地域の方、高学年の児童や教職員など様々な人々との関わりを大切に活動を行う。</li><li>・体験活動中・体験活動後の振り返りと気付きの表現を繰り返し行い、体験からの学びを大切にす</li></ul>

	する。 ・自分で選択する活動を取り入れることで、思考力・判断力の向上を図る。	る。
--	---	----